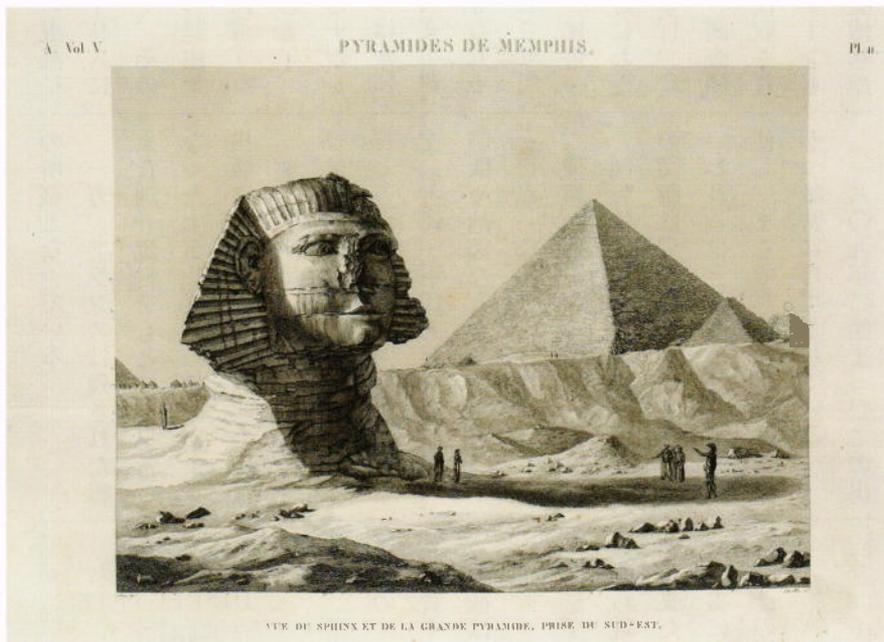


# やまとの名品 天理図書館



## ナポレオン皇帝版エジプト誌

1809～1822年刊 21冊

縦27cm 横39cm 9冊(本文)

縦58cm 横72cm 12冊(図版・地図等)

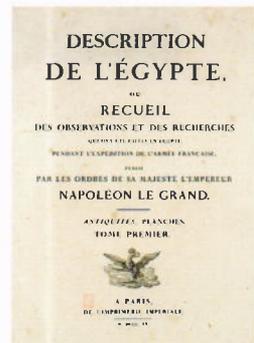
一七九八年、革命後の混乱に揺れるフランスは、イギリスに對する戦略の一環として、その植民地であるインドへの經由地エジプトに向けて軍を派遣する。指揮官は弱冠二十九才の青年、後にフランス皇帝となるナポレオンだった。彼は軍隊のほかに、考古学者、博物学者、天文学者、建築家、数学者、画家等百五十名を超える調査団を同行させて、エジプトの考古・博物・民俗・地誌など、すべての分野にわたって、正確で詳細な調査を行った。しかし遠征は失敗し、調査団が集めた古代の遺物は没収された。有名なロゼッタストーンもその一つで、現在は大英博物館

の所蔵となっている。

一方、フランスに残された膨大な調査資料をもとに、皇帝となったナポレオンの勅命により出版されたものが本書である。

タイトルは、『エジプト誌、フランス軍の遠征中にエジプトで行った観察と調査の集成』。本文（古代・現代・博物篇）九冊、図版や地図など十二冊の計二十一冊からなる。天理図書館では、二種類の初版を所蔵している。図版集に収められた九百近くの図版は、今日でさえ難しいといわれるほどの高度な技術を駆使し、まるで写真のように正確かつ緻密に再現されている。

一八〇九年に始まったこの出



標題紙（図版集）

版は、皇帝の失脚や幽閉を経て、没後の一八二二年まで、十年余りを費やす国家的大事業だった。遠征は失敗したが、発見されたロゼッタストーンによって古代エジプト文字が解読され、そこから近代エジプト学は誕生した。また、盗掘や破壊などで今や本書にしか残らない遺跡もあり、その功績は計りしれない。

（天理図書館 徳島照代）

天理図書館のお知らせ Tel: 0743 - 63 - 9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○3月の休館日：20日・27日～31日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）

本書は天理大学創立90周年記念特別展「ギリシア考古学の父 シュリーマン」に出品します。（於：天理参考館 2015年4月15日～6月8日）